

第56回 全国道場少年剣道大会

『参加上の注意』

併せて第56回全国道場少年剣道大会『要項』を充分ご確認ください。

出場者は必ず監督が引率し、事故防止並びに大会中選手の健康管理など、全ての責任を持って下さい。

- ① 本大会は、全日本剣道連盟制定、「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」に沿って開催します。
- ② **館内全ての方(乳幼児以外)にマスクの着用を求めます。試合者、審判員は試合中もマスクを着用することとします。**
- ③ 館外では人との距離(2m以上を目安)が確保できる場合や、距離が確保できなくても会話をほとんど行わない場合は、適宜マスクを外すなど、充分熱中症対策を行って下さい。
- ④ **規定により全入館者の名簿管理が必須となるため、各日の健康チェックシートに連絡先等記載のない者は入館できません。**
- ⑤ 下記の入場人数制限を行います。
【団体戦：1チームにつき選手3名、監督1名、付添者3名】
(※名簿管理を行う必要があるため、乳幼児、未就学児も1名とさせていただきます。ご了承下さい)
- ⑥ 各日の出場受付時に、選手、監督、付添者色分けをした入館証(ID)を発行します。
- ⑦ 試合中以外の館内移動・待機中はIDの着用をお願い致します。
- ⑧ 選手のID 着脱については、監督が管理をお願い致します。
- ⑨ 未就学児等、IDの着用が難しい場合は、保護者が管理して下さい。
- ⑩ 座席、控え場所における面の着脱時等、監督責任のもと管理し、各自消毒、衛生管理を行って下さい。
- ⑪ 食事は観覧席において、必ず黙食して下さい。
- ⑫ 万が一、大会後2週間以内に新型コロナウイルスの感染が発覚した場合、医師・保健所の指示に従い、ただちに本部事務局へ連絡して下さい。
- ⑬ 出場にあたり主催者の感染対策指示に従うとともに、各個人においても各自感染対策を行うものとします。
- ⑭ 運営は感染に関する注意喚起、消毒液の設置等の感染防止対策を行いますが、参加者が新型コロナウイルス感染症に感染しても一切の責任を負わないものとします。
- ⑮ 今後の感染症拡大状況により、開催内容の変更および大会を中止する場合があります。
- ⑯ 中止となった場合は、参加料は準備状況に応じた諸経費を差し引いて返金します。
- ⑰ 選手・監督および保護者は本大会における対策および取り決めについて、同意の上出場するものとします。
- ⑱ その他、当日の館内放送に注意して下さい。

感染対策について

- ① 出場する試合の確認は、【出場決定通知書】のエントリー部門・試合日・試合場をよくご確認ください。
- ② **選手は、なるべく事前に着替えて来館して下さい。**
- ③ 試合者の目印(紅白たすき)は、各自ご持参頂き着脱も行って下さい。
プログラムによるチーム番号の若い方を赤とします。
- ④ 試合者の名札は所属団体部分がチーム名(全道連登録名)と合致した、姓入りの明確に読み取れるものを使用して下さい。
(全道連に「〇〇中学」等、学校名で登録していない場合は「〇〇中」の名札は使用できません)
- ⑤ **少年剣士会員章(ワッペン)は、試合参加証であり、また、傷害保険証です。**
選手は、ワッペンを剣道着右上腕部に、必ずつけて参加して下さい。
ワッペンの紛失は監督が大会本部室(B2階)にて再購入して下さい。付添者はB2階へ降りれません。
- ⑥ 選手の館内での履物について、アリーナ以外での館内外の裸足歩行は禁止されております。
スリッパ、運動靴等で移動をお願いします。また、紛失・盗難予防に、名入れ等、充分管理下さい。
トイレには裸足で入らないで下さい。
- ⑦ 本大会ではオーダー表を使用致しません。
- ⑧ 入場行進は行いません。少年団旗、プラカード等は不要です。
- ⑨ 大会前日の会場内の下見はできません。また、両日共、物を置いておく事ができません。
両日共、完全撤去という形をとります。残された物は撤収し、遺失物として本部で預かります。

準備等

準備等

- ⑩ 館内備品の取り扱いにご注意下さい。
- ⑪ 監督・選手は、開会式終了後、迅速に試合ができるよう、ご準備下さい。
試合順番の確認は当日配布するプログラム受領の後、直ちにご確認下さい。
試合の組み合わせは全道連WEBにも掲載します。
- ⑫ 日本武道館宛に前もって剣道具等の荷物を送り届ける事はできません。
帰りの宅急便については、大会期間中、北西階段前テントにて午前11時より荷物の発送受付が可能です。
- ⑬ 除菌シート等をご持参頂き、退館の際は、席及び使用した箇所を除菌してご退館下さいませようお願いします。

食事

昼食が必要な者は各自で用意し、応援席でのみ、黙食で飲食可とします。

※感染対策のため、必ず黙食して下さい。事前に選手への指導をお願いします。

万が一感染が発生した場合、今後の剣道大会開催に多大な影響を及ぼす可能性があります。

感染対策について監督、保護者にご協力頂くとともに、必ず事前に選手への指導をお願いします。

飲食後は各自、手洗い、消毒、座席の衛生管理を行って下さい。

ゴミはお持ち帰り下さい。

旗

今大会は、旗かけを禁止とします。

SSP

- ① 選手は本大会においてSSPシール貼付の竹刀を使用して下さい。
- ② カーボン竹刀（樹脂製竹刀）は、今まで通り使用出来ます。
- ③ 試合前、竹刀の検品は行いませんが、該当竹刀以外の場合、1階西口入場口付近「全日本武道具協同組合」ブースにて対応して下さい。

選手の登録・変更

- ① 補欠選手は認めません。
- ② **登録時2名の場合は「中堅」をあげて「先鋒」と「大将」で登録して下さい。**
- ④ **【出場決定通知書】**発送後の欠員補充は、試合当日当該チーム第1試合開始までに、各試合場にて選手変更の手続きを行って下さい
ただし、オーダーの変更はできません。
- ⑤ 選手変更は監督が該当試合場の「選手変更届」用紙に記入頂き、審判主任又は試合場責任者の了承を得て下さい。
尚、試合が開始されてから事故者等が出た場合は欠員のままで行います。

受付

- ① 当日の出場受付は、午前7時30分(予定)より 日本武道館【正面西口前】で行います。
- ② 受付は、チーム代表者1名(付添者代理受付可能)が行って下さい。受付時に、当日の入館証ID(人数分)を渡します。
- ③ 同封の**【出場決定通知書】**と**【健康チェックシート】**により受付を行います。
必ず、記入済み【健康チェックシート】を持参頂き、受付に提出して下さい。
健康チェックシートの提出がない場合や当日発熱のある者(37.5度以上)は日本武道館へ入館できません。ご注意下さい。
- ④ ID受け取り後、参加者にお配り頂き、IDを着用の上、全員揃って入場待機列へお進み下さい。

入場

- ① 前日からの日本武道館のある北の丸公園内の立ち入りを禁止致します。
- ② 試合当日の選手、監督、付添者以外は日本武道館内には入れませんので厳守下さい。
- ③ 全来館者は、当日受付で配布する各日指定の入館証(ID)を必ず着用して下さい。
- ④ 入場は「健康チェックシート」に記入されたチームごとに、揃って入場して頂きます。
- ⑤ 入場口は、チームごとに割り当てられた指定席によって異なります。指定された入口より入場して下さい。
- ⑥ 監督は、団体1チームにつき1人の登録です。
- ⑦ 係員の指示に従い、混乱や事故の無いよう入場して下さい。

指定席

- ① 厳正なるコンピュータ抽選により割り振ります。【出場決定通知書】に記載された指定席をご利用下さい。
- ② 入場制限を行うため、自由席は設けません。
- ③ **消防法の規制強化に伴い日本武道館内全ての場所で、シート類による場所取りの他、観覧席以外いかなる場所でも荷物を置いておく事はできません。**

準備運動

- ① **今大会では、不特定多数による密集状況避けるため、ウォーミングアップの時間を設けません。**
また、日本武道館 館内外、北の丸公園含めて、竹刀を用いる練習を禁止します。
- ② 各自準備体操を行い、ケガの無いよう十分注意して下さい。

開会式

- ① 両日共、午前9時より開会式を行います。アリーナ(試合場)への整列は4試合目までの選手とします。
それ以外の選手は観覧席で開会式に参加して下さい。
- ② 整列する選手は、午前8時40分までにアリーナに胴・垂着用の上、ご集合下さい。
それ以降のアリーナへの入場は、式典の関係上ご遠慮頂きます。同時刻までの集合にご協力下さい。
その他の選手は式典中に他の場所で準備運動などは行わないで下さい。
- ③ 国歌は、感染対策により心の中でご唱和下さい。

B2階アリーナ(試合場)について

- ① 各試合場1回戦・2回戦はB2階招集場所にてチームの招集・点呼を行います。(小学生の部は3回戦まで)／7月11日追記
但し、試合番号1～4のチームにつきましては開会式に整列し参加していただきますので、試合ができる準備をして、アリーナ内待機エリアにて点呼を受けたのち係員の指示に従い、各試合場付近に整列願います。
3回戦以降は直接B2アリーナに入場し該当試合場のアリーナ内待機エリアにて待機して下さい。
- ② 選手・監督のB2階アリーナ(試合場)への入退場は試合番号順に下記の手順で係員の指示に従って下さい。
応援席 ⇒ B2階招集場所 ⇒ アリーナ内待機エリア ⇒ 各試合場 ⇒ 退場 ⇒ 応援席
※ B2階への移動時に利用できる階段を【南東階段】・【南西階段】・【北西階段】の3か所とします。
- ③ 開会式終了後、試合番号5～9までのチームはB2階招集場所へ移動して下さい。
以降、試合の進行ごとにB2階 招集場所にご集合願います。(各試合場の試合番号表記 +8 で移動開始)
- ④ B2階 招集場所について 以下試合を行う試合場ごとに招集場所を指定します。
● 第1・第7試合場……………【控室 東3】
● 第2～第6試合場・第9～12試合場…【B2階中道場】
● 第8・第13・第14試合場……………【控室西2・3】
- ⑤ 一試合ごとの退場にご協力をお願いします。
法令順守の観点から試合場フロアおよびB2階廊下等での待機は決して行わないで下さい。
- ⑥ 選手待機エリアでの竹刀、面の取り扱いが問題になっております。「竹刀スタンド」等を用いて、会場内の整頓にご協力をお願いします。
- ⑦ 廊下に脱いだ履物を置いておくことが禁止になりました。
試合場への入場時は**各自靴袋を準備頂き**、靴の管理、履き替えにご協力下さい。

日本武道館 館内図等詳細につきましては順次、道場連盟ホームページに掲載致します。【<http://www.zendoren.org>】

応援

応援は拍手のみとし、声援を禁止します。

試合について

- ① 試合は各試合場、トーナメント方式により、全日本剣道連盟 剣道試合・審判規則及び細則、及び主催大会実施にあたっての**感染拡大予防ガイドライン**、並びに本大会要項の申し合わせ事項に従って行います。
下記の遵守をお願い致します。
※**試合者は試合中、面マスク、シールド着用する。**
マスクは口と鼻を確実に覆うもの、シールドは口元を覆うものとし、形状の指定はしない。
- 1. 試合時間は**小学生2分、中学生2分30秒**、3本勝負で行い、勝敗の決しないときは引き分けとする。
- 2. 勝者数、総本数が同数のときは、任意による代表者戦によって勝敗を決する。
代表者戦は 1 本勝負とし、**2分ずつ時間を区切って、延長3回で1回5分の休憩を取り**、勝敗の決するまで行う。
- 3. **試合者は鏢競り合いを避ける。接触した瞬間の引き技、及び体当たりからの技(発声を含む)は認める。**
やむを得ず鏢競り合いになった場合、試合者はすみやかに分かれる。
- 4. 「上段の構え」、「突き技」については、(公財)日本中学校体育連盟剣道部申し合わせ事項に準じ禁止する。
ただし、隻腕の場合は事前に大会本部に連絡すること。
- 5. 竹刀の規格は全日本剣道連盟の規則に従う。ただし、小学生は111cm(3尺6寸)以内の安全な竹刀を使用すること。
監督は責任をもって選手の竹刀が、試合ごとに適格かつ安全な竹刀であることを確認すること。

6. 試合場は規則より狭く設営してあるが、「場外」の反則は規則通り適用する。
7. 関係者一同、対戦相手を取り違えないよう充分注意すること。
- ② 各試合場の1回戦目までにおいて、数回呼び出しても現れないチームがある場合は、次の試合を進めます。3試合を待ち、それまでに現れない場合は不在チームの不戦負けとします。その間、対戦チームはその場に待機して下さい。
- ③ 各試合場の2回戦目以降は、数回呼び出しても現れない場合は不在チームの負けとします。試合進行にご注意下さい。
- ④ 交通機関等の事情により、上記の時間以上、試合場到着が遅れる場合は、大会委員長又は大会総務委員長により判断致します。
- ⑤ 進行状況により試合場を変更する場合があります。場内アナウンスにご注意下さい。

- ① 16ブロックにおける上位各4チーム(ベスト64)以上、敢闘賞(ベスト8)を順次、本部席横にて表彰します。準備が出来次第、アナウンスしますので、お集まり下さい。
- ② 表彰式は優勝～第3位(ベスト4)までを表彰します。

- ① ロビー、廊下及び駐車場でのごみ、素振りは禁止となっています。遵守下さい。
 - ② ロビー、廊下及びバルコニー等にシート類・ロープ等で陣を取ったり、そこで飲食する事を禁止します。
 - ③ ゴミ類は、館内で捨てられません。お持ち帰り下さい。
 - ④ 館内及び館外は一部指定喫煙場所を除き全面喫煙禁止です。指定場所以外での喫煙は一切できません。ご協力下さい。
 - ⑤ 館内の電気コンセントの使用はできません。また、館内の設備は大事に使用して下さい。
 - ⑥ 館内外(駐車場含む)の事故、盗難等に一切の責任を負いません。
 - ⑦ 大会開催施設周辺での事故が発生したことがあります。充分ご注意下さい。
少年剣士が試合以外でも怪我をしないよう、また、子供たちだけで遊ばせないよう呉々もご注意下さい。
 - ⑧ 本部に届けられた遺失物については大会期間中、本部席で預かります。
大会終了後は6ヶ月間、事務局で保管します。お問い合わせ下さい。その後は処分させていただきますのでご了承下さい。
- ※ 盗難には十分ご注意下さい。
- ※ 主催者は大会中負傷疾病に対し応急手当をする他は一切の責任を負いません。試合者(選手)は少年剣士会員章(ワッペン)の傷害保険が適用されますので、万一、傷害が発生した場合、本部に届け出て下さい。

反倫理的行為等の根絶について

剣道に限らず、他スポーツ団体においても近年取り沙汰されている反倫理的行為(暴力・各ハラスメント・差別・禁止薬物使用等)の問題に対して、平成30年全剣連が、倫理に関するガイドラインを制定しました。本連盟と致しましても特に剣道を通して幼年から青少年の育成に携る立場である事から、これを真摯に受け止め、根絶に向けて取り組まなければなりません。指導者の皆様におかれましても、この事を充分留意され、剣道の理念を熟慮し、健全な活動と剣道の発展にご尽力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

監督の服装について

特に規定を致しませんが、相応しい恰好でお願い致します。

本大会の非常時対応について

昨今の度重なる自然災害に対する安全対策として、大きな揺れ等、危険と判断した場合は直ちに試合を止め、係員の指示に従って行動して頂きますので、ご了承下さい。

万一事故や大きなトラブルがあった場合、大会が開催できなくなります。
< 大会が盛会かつ円滑に事故なく終了するよう ご協力をお願い致します >

一般財団法人 全日本剣道道場連盟 <http://www.zendoren.org>

公益財団法人 日本武道館 <https://www.nipponbudokan.or.jp>